

月から5-FU併用で74 Gyまでの照射を施行。再発なく経過観察されていたが、97年4月に左胸水・心嚢水貯留。再発を疑い胸水の細胞診を2回提出するも陰性。利尿剤の内服で胸水・心嚢水ともに一時的に改善したが、再度増加。左胸腔ドレナージ・胸膜癒着術により胸水・心嚢水ともに軽快。経過は良好で98年1月現在、胸水・心嚢水貯留を認めていない。癌の再発との鑑別が問題になるが、過去に胸部放射線治療を受けている場合は放射線障害も疑う必要がある。

8) 子宮頸部腺癌における卵巣転移に関する検討

夏目 学浩・青木 陽一
加勢 宏明・菅谷 進 (新潟大学医学部)
児玉 省二・田中 憲一 (産科婦人科学教室)

子宮頸部腺癌手術例における卵巣温存の可能性について検討した。1971年～1996年に当科で治療した子宮頸部腺癌Ib, II期の82例を対象とした。卵巣転移は摘出卵巣の病理組織により診断し、臨床進行期、頸部間質浸潤、リンパ節転移さらに脈管侵襲との関係を検討した。平均年齢は52.9才で、閉経前症例が39例、閉経後症例が43例で、卵巣転移は12.2% (10/82例)に認められた。臨床進行期では、Ib期2.5% (1/40例)、II期21.6% (8/37例)に転移を認め、II期で有意に高率であった。頸部間質浸潤に関しては、10例の転移例すべて外側1/3以上の深い浸潤例であった。リンパ節転移に関しては、無転移例8.2% (5/61例)、転移例23.8% (5/21例)に、脈管侵襲に関しては、陽性例16.7% (7/42例)、陰性例7.5% (3/40例)に卵巣転移を認め、リンパ節転移例、脈管侵襲陽性例において高率であったが、有意差を認めなかった。子宮頸部腺癌Ib期で頸部間質浸潤が内側2/3以内の症例では、卵巣温存が可能と考えられた。

9) 当科における卵巣癌再発症例に対するC-EP' (Endoxan, VP-16, CBDCA)療法の臨床的検討

東條 義弥・関根 正幸
青野 一則・花岡 仁一 (新潟市民病院)
竹内 裕・徳永 昭輝 (産婦人科)

卵巣癌の化学療法として、CAP療法は非常に有効であり、first line chemotherapyとしては、すでに確立された方法の一つであると考えられる。しかしながら、再発例に対するsecond line chemotherapyとしては

確立された regimen はなく、さまざまな試みがなされている。今回我々は、C-EP' (Endoxan, VP-16, CBDCA)療法を施行した卵巣癌IIIc, IV期再発4症例について検討した。症例は44歳から65歳の卵巣癌IIIc期以上で手術完速度はいずれもグループb2であった。4症例中、1例がCR, 1例がPR, 2例がPDであった。PR例(漿液乳頭状腺癌)は肝および脾に転移を認めC-EP'に regimen を変更後脾の転移巣はNCであったが、肝転移巣は消失し、CR例(未分化癌)は横隔膜下転移巣が消失した。副作用は、骨髄抑制 grade4が3例、grade3が1例であったが、腎機能の低下は認められなかった。再発進行卵巣癌に対してC-EP療法は、選択枝の1つとなりうると考えられた。

10) 前立腺癌、前立腺高度異型過形成症例におけるγSm/tPSA比率、fPSA/tPSA比率の検討

西山 勉・照沼 正博 (厚生連長岡中央総合病院泌尿器科)
木津利佳子 (同 検査科)
五十嵐俊彦・石崎 敬 (新潟県厚生連病理センター)
塚田 敏彦 (虎ノ門病院 臨床化学検査部)

【目的】前立腺癌(PCA)、前立腺高度異型過形成(AH)症例でtPSA (ng/ml), fPSA (ng/ml), γSm (ng/ml)を測定し、早期PCHとAH症例におけるγSm/tPSA比率、fPSA/tPSA比率の有用性を検討した。【対象ならびに方法】stage B2までの未治療PCA症例は27例、AH症例は7例(PIN4例、AAH3例)、前立腺肥大症(BPH)は59例であった。tPSAを未処理血清による測定を行い、fPSAは58℃、30分熱処理血清を用いた。【結果】PCA症例のtPSAは平均36.8、γSmは平均5.6、fPSAは平均1.2、γSm/tPSA比率は平均0.251、fPSA/tPSAは平均0.116であった。AH症例ではtPSAは平均13.7、γSmは平均3.2、fPSAは平均1.2、γSm/tPSA比率は平均0.246、fPSA/tPSAは平均0.082であった。BPHではtPSAは平均9.2、γSmは平均4.7、fPSAは平均1.6、γSm/tPSA比率は平均0.581、fPSA/tPSAは平均0.189であった。γSm/tPSA比率、fPSA/tPSA比率はPCA症例ではBPH症例に比較して有為に低値であった。AH症例ではPCA症例と同等の値を示した。【結語】γSm/tPSA比率、fPSA/tPSA比率の検討はPCA症例ば